

システム管理とメタデータ



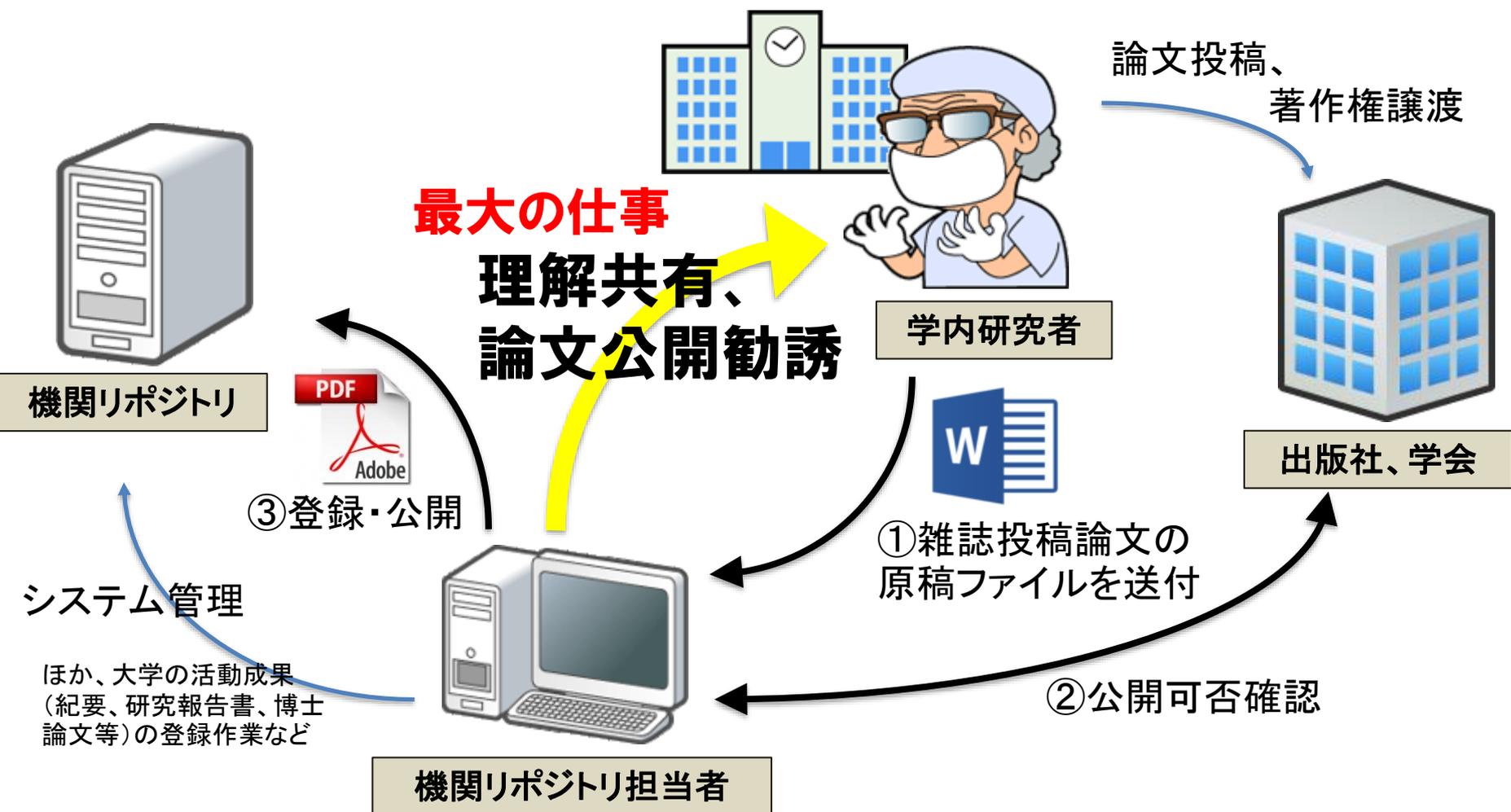
2018年度 10月29日改訂版

機関リポジトリ新任担当者研修テキスト

JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会
研修作業部会

2018年度機関リポジトリ新任担当者研修

機関リポジトリ業務とは

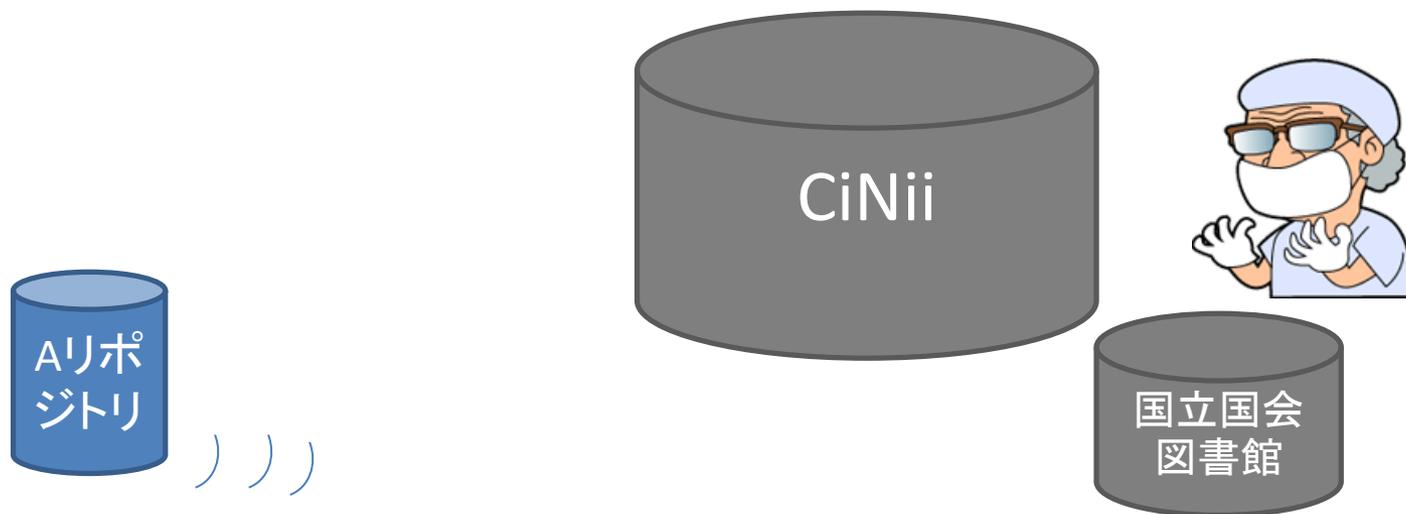


本講の内容

- 機関リポジトリと他システムとの連携の仕組み
 - 機関リポジトリの特徴
 - メタデータ
 - OAI-PMH
 - サービスプロバイダ (IRDB, OAIster等)
 - メタデータフォーマット (junii2, oai_dc等)
 - マッピング設定
 - 国立国会図書館への博士論文提出
 - 機関リポジトリコンテンツへのDOI付与
- システム担当者が行うこと
 - 最初に行うこと
 - 日常的に行うこと

機関リポジトリと他システムとの 連携の仕組み

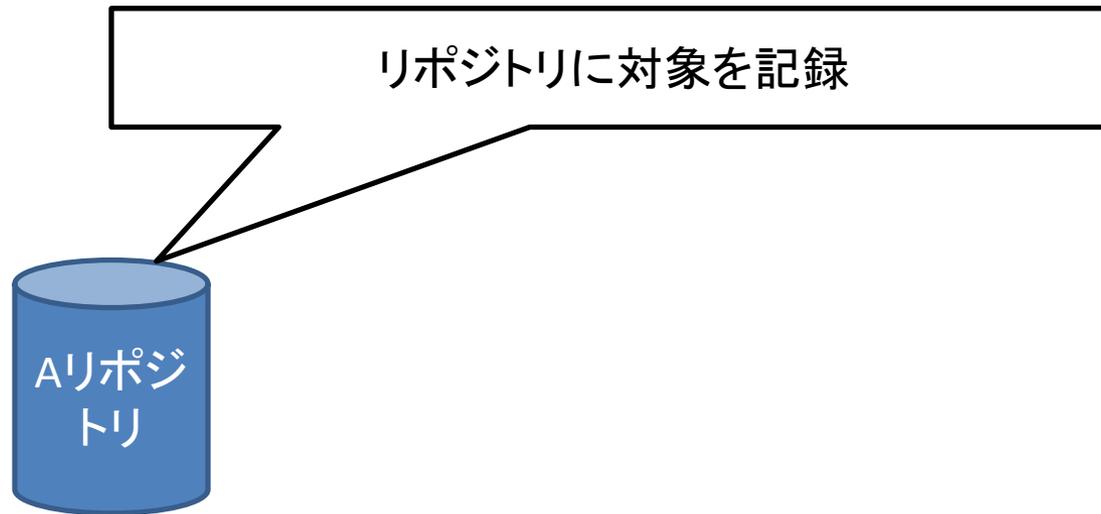
機関リポジトリがあるだけでは、なかなか見つけてもらえません。
CiNiiなどで検索してヒットするように、機関リポジトリのデータを他の
システムにも連携させます。
そのための仕組みや、必要な設定を説明していきます。



機関リポジトリの特徴

- 論文等のメタデータを広く流通させ、学内研究成果の視認性を向上させるのが機関リポジトリの特徴の一つ。
- メタデータをjunii2(ジュニイツー)やoai_dc(オーエイアイディーシー)等の所定の形式で用意しておくこと、そのデータをOAI-PMH(オーエイアイピーエムエイチ)というプロトコルにより自動収集してくれて、自サービスに登録し、サービス展開してくれるプロバイダ(IRDB(アイアールディービー)、OAIster(オイスター)等)がある。

■メタデータ



メタデータ

- メタデータとは、データそのものではなく、データについてのデータ。
- 目録の書誌項目もメタデータの種類。
- つまり、
 - 論文タイトル
 - 著者名
 - 掲載誌名
 - 抄録 等々
- 「目録規則」はない＝各機関で設計可。

各リポジトリのメタデータ

旭川医科大学学術成果リポジトリ AMCoR

<http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/> (参照2018-05-06)

北海道大学学術成果コレクション HUSCAP

<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/> (参照2018-05-06)

ID	2008078674
アイテムタイプ	Article
このアイテムを表示する	本文 2008078674.pdf Type : application/pdf Size : 696.2 KB Last updated : Jul 11, 2008 Downloads : 18013 Total downloads since Jul 11, 2008 : 18013
タイトル	【歩行】歩行の神経機構Review
著者	高草木薫 (Takakusaki Kaoru)
上位タイトル	Brain Medical Vol.19, No.4 (2007. 12) ,p.307- 315
識別番号	ISSN 915-5759
抄録	歩行には3つのプロセスがある。第1は、正確な制御を必要とする随意的であり、これは大脳皮質からの随意的な信号により遂行される。第2は、回避、逃走など情動的プロセスであり、辺縁系や視床下部から脳幹への投与する。第3は、歩行時のリズムカルな肢運動や姿勢調節など、無意識に自動的プロセスであり、脳幹と脊髄におけるsensori-motor integration重要な役割を果たす。大脳基底核や小脳は、大脳皮質、辺縁系・視床下部で脳幹に作用して歩行を制御する。
キーワード	歩行誘発野、Central pattern generator、パーキンソン病、脳性歩行失調
注記	著者版
言語	jpn
資源タイプ	text
ジャンル	Journal Article

フルテキスト

[20120324_sympo.pdf](#) 1.37 MB PDF [見る/開く](#)

この文献へのリンクには次のURLを使用してください:<http://hdl.handle.net/2115/50052>

タイトル: 糖尿病患者の歯周病 – 糖尿病教育入院患者における分析 –

著者: [根岸, 淳](#) [著作を一覧する](#)

発行日: 2012年 3月24日

引用: 糖尿病と歯周病に関わる医科・歯科合同シンポジウム / 北海道歯科医師会・平成24年3月24日・札幌市・札幌グランドホテル 2階 金枝の間

記述: 発表者: 根岸 淳

資料タイプ: lecture

URI: <http://hdl.handle.net/2115/50052>

出現コレクション: [雑誌発表論文等 \(Peer-reviewed Journal Articles, etc\)](#)

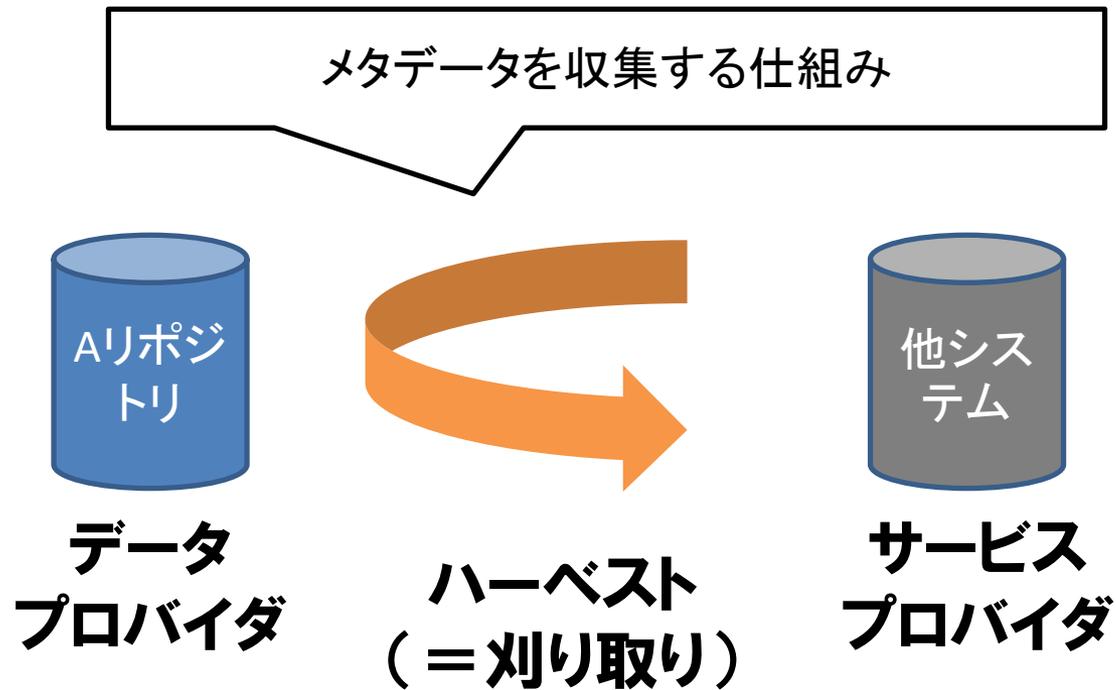
[資料の詳細レコードを表示する](#)

提供

Bリポジトリ

Cリポジトリ

■ OAI-PMH



OAI-PMH

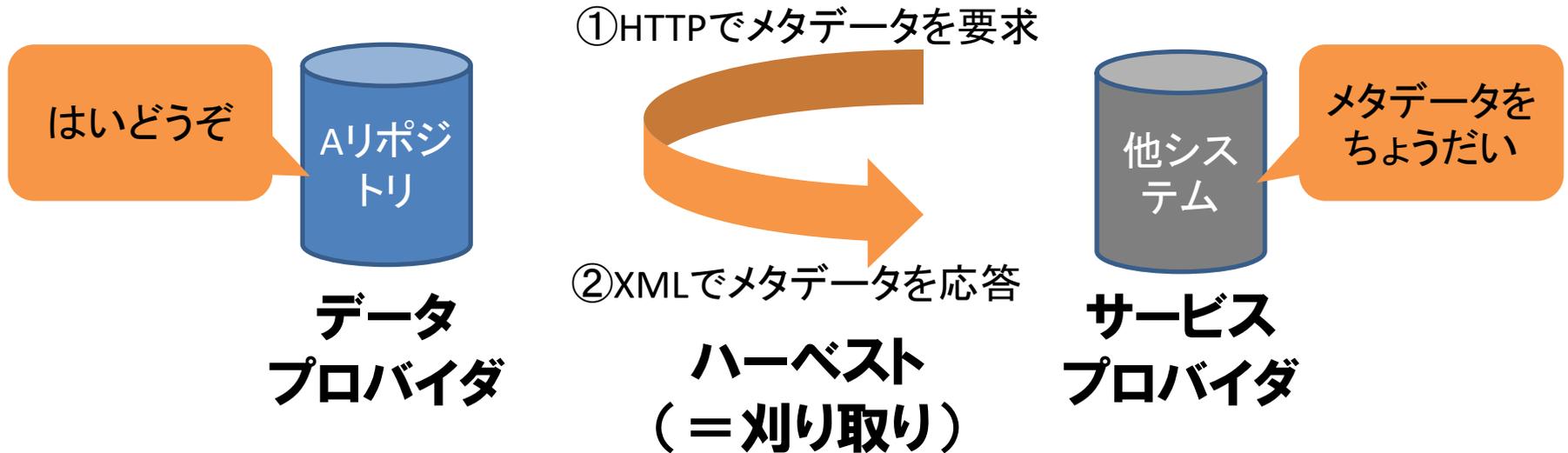
- データの自動収集によってメタデータを交換するためのプロトコルの名称。
- OAI-PMH = Open Archives Initiative Protocol for Metadata Harvesting



通信上の手順
や約束事の取
りきめ

OAI-PMH

- プロトコル概念図



- HTTP通信を使用するため、アプリケーションに依存しない。
- 本文ファイル(PDF等)はやり取りされない。
- メタデータの変更、削除記録も考慮される。

OAI-PMH

- OAI-PMHの出力例

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```
▼<OAI-PMH xmlns="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-
instance" xsi:schemaLocation="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/
http://www.openarchives.org/OAI/2.0/OAI-PMH.xsd">
  <responseDate>2012-09-16T12:37:18Z</responseDate>
  <request metadataPrefix="junii2" verb="ListRecords">http://barrel.ih.otaru-uc.ac.jp/dspace-
oai/request</request>
  ▼<ListRecords>
    ▼<record>
      ▼<header>
        <identifier>oai:barrel.ih.otaru-uc.ac.jp:10252/25</identifier>
        <datestamp>2008-05-27T02:53:26Z</datestamp>
        <setSpec>hdl_10252_17</setSpec>
        <setSpec>hdl_10252_8</setSpec>
      </header>
      ▼<metadata>
        ▼<junii2 xmlns="http://irdb.nii.ac.jp/oai" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="http://irdb.nii.ac.jp/oai http://irdb.nii.ac.jp/oai/junii2.xsd">
          <title>独立行政法人会計基準の特色</title>
          <creator>渡邊, 和夫</creator>
          <NIIsubject>ビジネス・経営・産業</NIIsubject>
          <NDC>343.8</NDC>
          <NDC>336.9</NDC>
          <publisher>会計検査院</publisher>
          <NIIttype>Journal Article</NIIttype>
          <format>application/pdf</format>
          <URI>http://hdl.handle.net/10252/25</URI>
        ▼<fullTextURL>
          http://barrel.ih.otaru-uc.ac.jp/bitstream/10252/25/15/%e4%bc%9a%e6%a4%9c%e7%a0%9425_9-21.pdf
        </fullTextURL>
        <issn>0915-521X</issn>
        <jtitle>会計検査研究</jtitle>
        <volume>25</volume>
        <spage>8</spage>
      </junii2>
    </metadata>
  </record>
</ListRecords>
</OAI-PMH>
```

IRDB (学術機関リポジトリデータベース)

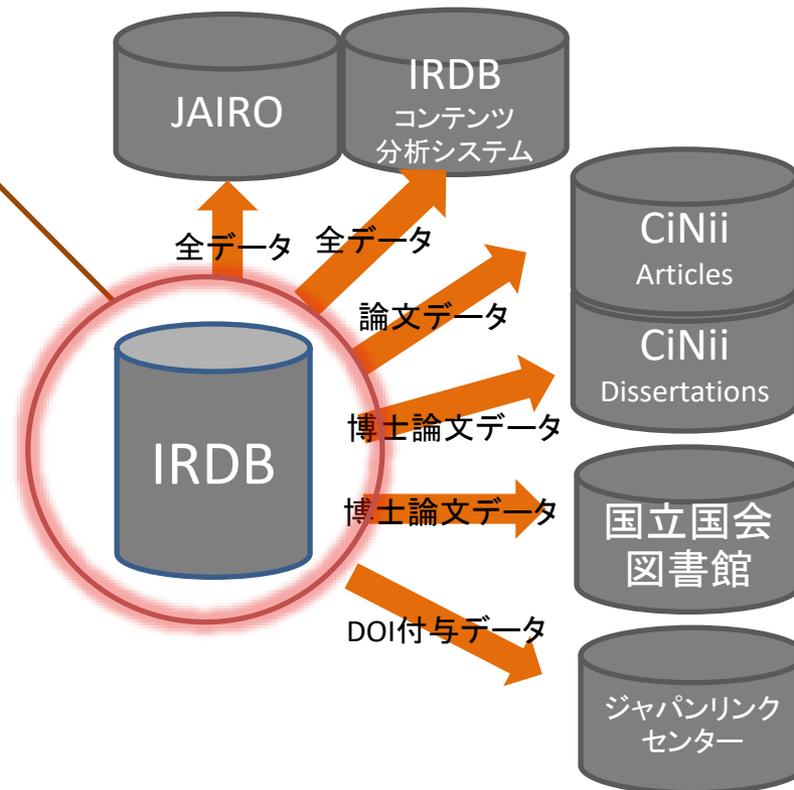
【注意】

本スライドにおけるIRDBの説明は平成30年度末で停止予定の旧IRDBのもの

サービスプロバイダからの
メタデータ流通



ハーベスト
(=刈り取り)

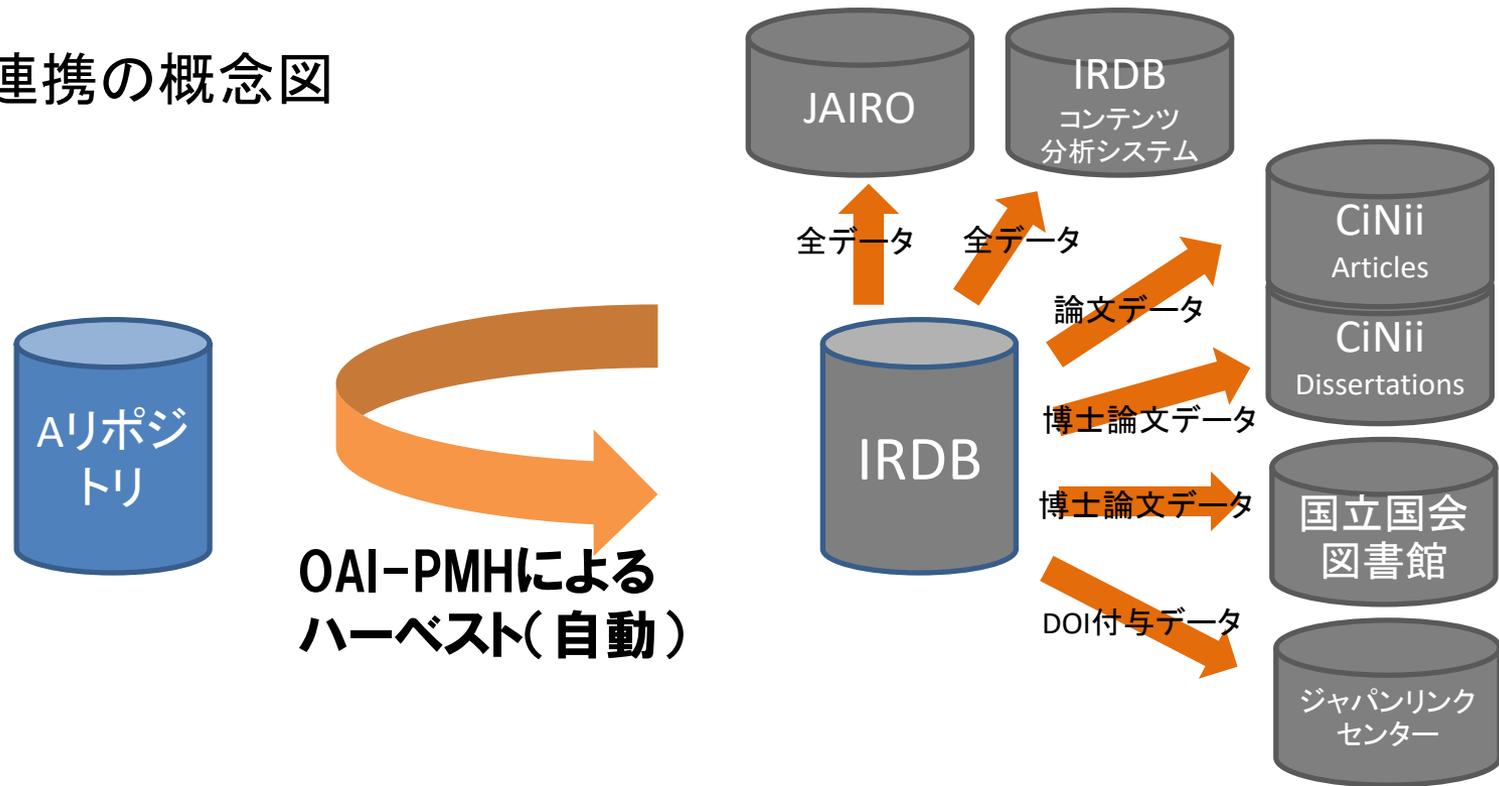


IRDB（学術機関リポジトリデータベース）

- 国立情報学研究所（NII）が運営しているIRDBは、各機関からの申込に基づき、リポジトリのメタデータを収集するサービスプロバイダ。
- IRDBに収集されたメタデータは、**JAIRO**や**IRDBコンテンツ分析システム**で公開される。
- IRDBは**CiNii Articles**、**CiNii Dissertations**、**国立国会図書館**、**ジャパンリンクセンター**等の他システムとの連携により、日本の学術情報流通のハブとなっている。

IRDB (学術機関リポジトリデータベース)

- 連携の概念図



- このように、1つのサービスプロバイダに提供すると、そのプロバイダが別のサービスにデータ提供し、広がっていくこともある。

JAIRO (学術機関リポジトリポータル)

- <http://jairo.nii.ac.jp/> (参照2018-05-06)
- IRDBによって収集された国内機関リポジトリのメタデータを検索できるサイト。

The screenshot displays the JAIRO website interface. At the top left is the JAIRO logo with the text "Japanese Institutional Repositories Online". To the right of the logo are two columns of navigation links: "お知らせ", "JAIROについて", "利用方法", and "お問い合わせ" in the first column; "良く利用されるコンテンツ", "IRDBコンテンツ分析", and "JAIRO利用統計" in the second column. Further right is an "English" link. Below the navigation is a search bar with two tabs: "簡易検索" (Simple Search) and "詳細検索" (Detailed Search). To the right of the search bar, it shows "2018/05/05現在 685機関 2,895,776件". Below the search bar is a search input field and a "検索" (Search) button with a magnifying glass icon. Below the search bar are two radio buttons: "すべて" (All) and "本文あり" (Full text only). At the bottom left, there is an "お知らせ" (Notice) section with a link: "システムメンテナンスによるサービス停止について (2017/8/24)".

IRDBコンテンツ分析システム

- <http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php> (参照2018-05-06)
- 国内機関リポジトリの詳細情報、コンテンツの統計分析情報を閲覧できるサイト。

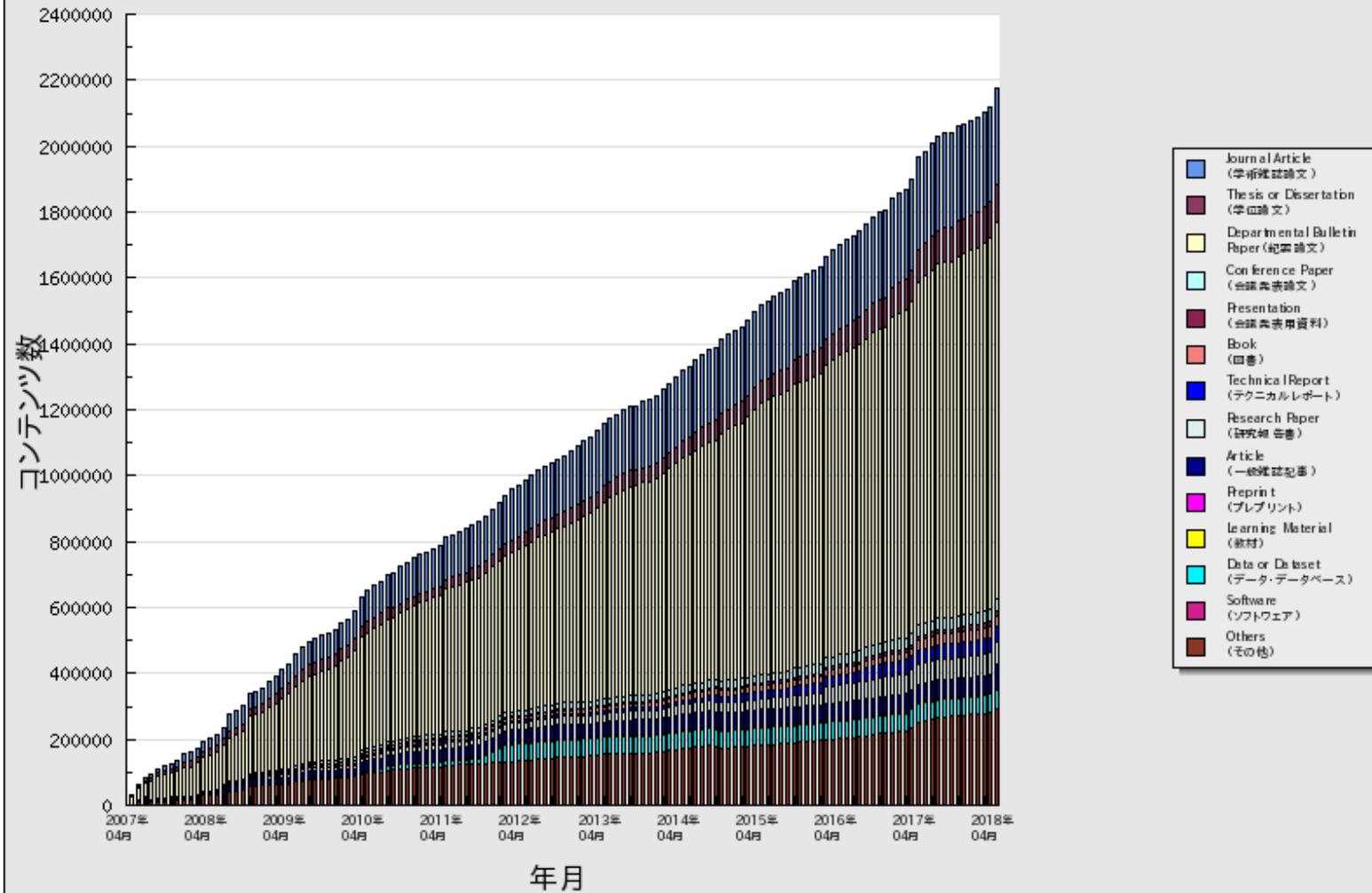
The screenshot shows the homepage of the IRDB Contents Analysis System. At the top left, the logo reads "IRDBコンテンツ分析" with the subtitle "NII Institutional Repositories DataBase Contents Analysis". To the right of the logo are navigation links: "IRDBコンテンツ分析について", "ヘルプ", "お知らせ", "お問い合わせ", and "English". Below these is a search bar labeled "機関名等から検索：" with a search button labeled "検索".

On the left side, there are buttons for "HOME", "機関名一覧から探す", and "クローラー情報".

The main content area contains the text: "IRDB (Institutional Repositories DataBase : 学術機関リポジトリデータベース) コンテンツ分析システムでは、各IRの詳細情報、コンテンツ内容の統計分析情報、機関リポジトリのクローラー (ロボット) 情報を提供しています。" followed by a link "詳細".

At the bottom, it states: "分析対象 : IRDBハーベスト機関リポジトリ数 : 677、コンテンツ数 全体 : 2,850,790件、本文あり : 2,174,446件 (2018/04/30)"

IRDB全体のコンテンツ増減 (本文あり)



IRDBコンテンツ分析システム <http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php> (参照2018-05-06)

CiNii Articles と CiNii Dissertations

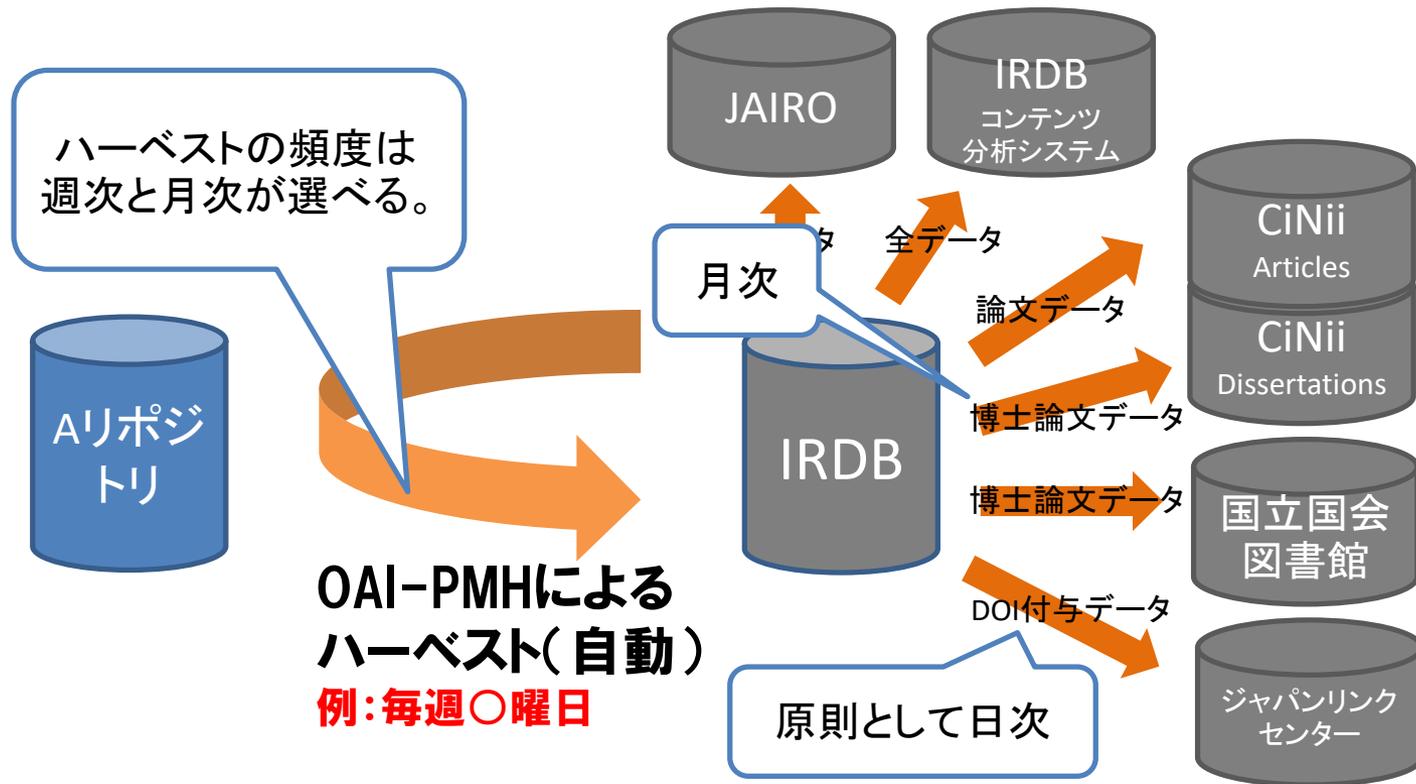
- <http://ci.nii.ac.jp/> (参照2018-05-06) 日本の論文検索サイト
- <http://ci.nii.ac.jp/d/> (参照2018-05-06) 日本の博士論文検索サイト
- IRDBから論文や博士論文のメタデータを取り込んで検索サービスを提供

The screenshot shows the CiNii Articles search page. At the top, there are navigation links for '日本の論文をさがす', '大学図書館の本をさがす', and '日本の博士論文をさがす', along with '新規登録', 'ログイン', and 'English'. Below this is a message about the migration of content to NII-ELS. The main header features the CiNii logo and 'Articles'. The search area includes tabs for '論文検索', '著者検索', and '全文検索'. A search bar contains the text 'フリーワード' and a '検索' button. Below the search bar are radio buttons for 'すべて' and '本文あり', with a '閉じる' button. The form includes fields for 'タイトル', '著者名', '著者ID', '著者所属', '刊行物名', 'ISSN', '巻号ページ' (with sub-fields for '巻', '号', 'ページ'), '出版者', '参考文献', and '出版年' (with sub-fields for '年' and '年まで').

The screenshot shows the CiNii Dissertations search page. At the top, there are navigation links for '日本の論文をさがす', '大学図書館の本をさがす', and '日本の博士論文をさがす', along with 'ログイン' and 'English'. The main header features the CiNii logo and 'Dissertations'. The search area includes a search bar and a '検索' button. Below the search bar are radio buttons for 'すべて' and '本文あり', with a '閉じる' button. The form includes fields for '抄録・目次・注記', '学位授与大学名', '大学ID', '取得学位名', and '学位授与年' (with sub-fields for '年から' and '年まで').

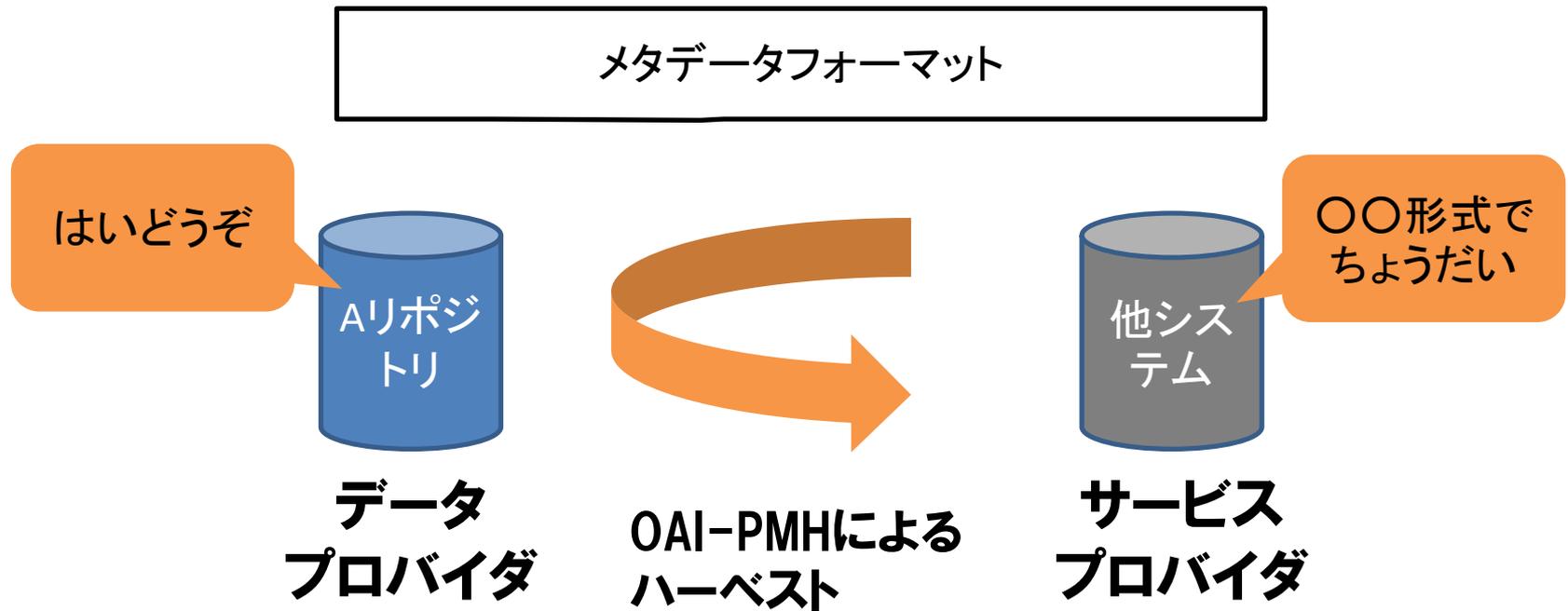
IRDB (学術機関リポジリデータベース)

- データ連携のタイミングには時差がある。



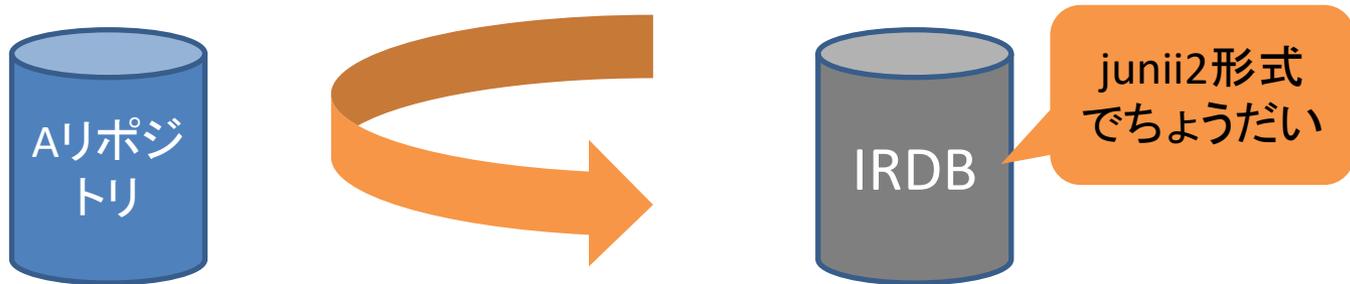
- IRDBとCiNii Dissertationsとの連携タイミングは、http://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/irdb_harvest.html (参照2018-05-06)による。
- IRDBとジャパンリンクセンターとの連携タイミングは、http://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/pdf/JaLC_guideline_ver2.0.pdf (参照2018-05-06)による。

■ junii2



junii2

- サービスプロバイダであるIRDBが求めるメタデータフォーマット。
- 日本国内における標準仕様として広く流通。



**OAI-PMHによる
ハーベスト(自動)
例:毎週〇曜日**

junii2

メタデータフォーマットjunii2(バージョン3.1) 各データ要素の入力内容一覧

凡例：青=必須、黄色=あれば必須、左記以外=各機関リポジトリのポリシーによる (赤字はメタデータ登録時の変更箇所、赤字はメタデータ取得時の変更箇所)

番号	大項目	項目	element	内容	必須	繰り返し可能	minOccurs	maxOccurs	形式(空白の場合は文字列)	xmlスキーマで定義される データの行先	アプリケーションの属性	
1	タイトル	タイトル	title		必須	x	1	1		title	必須	
2		その他の(別言語等)のタイトル	alternative	別言語のタイトルやタイトルの訳			0	unbounded		title	任意	
3		作成者	creator		あれば必須		0	unbounded		creator	任意 注	
4		書きキーワード	subject				0	unbounded		subject	任意	
5	主題	国立情報学研究所 メタデータ登録体系	NIsubject	下記URL参照 http://www.nii.ac.jp/metadata/niisub/116-category.php			0	unbounded		subject	version	
6		日本十進分類法	NDD				0	unbounded		subject	version	
7		国立国会図書館分類表	NDCG				0	unbounded		subject	version	
8		日本丹式簿目	DSH				0	unbounded		subject	version	
9		国立国会図書館呼称目録表	NDCSH				0	unbounded		subject	version	
10		医学丹式簿目表	MeSH				0	unbounded		subject	version	
11		デューイ十進分類法	DDC				0	unbounded		subject	version	
12		米国国会図書館分類表	LCC				0	unbounded		subject	version	
13		国際十進分類法	UDC				0	unbounded		subject	version	
14		米国国会図書館呼称目録表	LCSH				0	unbounded		subject	version	
15			内容記述	description	論文の抄録 申請書原稿文にあっては、申請名、申請種、日時等 その他コンテンツの内容を記述すること			0	unbounded		description	
16			公開者	publisher	コンテンツ自体の公開を行った個人、組織、団体			0	unbounded		publisher	任意 注
17			寄与者	contributor	コンテンツ自体の作成に関わりを持つ、個人、組織、団体			0	unbounded		contributor	任意 注
18			日付	date	コンテンツの作成日付			0	unbounded	YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY	date	
19		資源タイプ	type	コンテンツの種類(自由記述)			0	unbounded		type		
20		国立情報学研究所 メタデータ登録体系 (資源タイプ)	NItype		必須	x	1	1	[Journal Article Thesis or Dissertation Departmental Bulletin Paper Conference Paper Presentation Book Technical Report Research Paper Article Preprint Learning Material Data or Dataset Software Others]	type		
21		フォーマット	format	Internet Media Typeで標準化されるファイル形式			0	unbounded		format		
22		その他の登録識別子	identifier	33-99, 61項以外の登録識別子			0	unbounded		identifier		
23	登録 識別子	登録識別子URL (アイテム登録申請書へのリンク)	URL	コンテンツ自体を参照する機関へのURL	必須	x	1	1	URL	identifier		
24		論文の公開先URLへのリンク	urlLevelURL	コンテンツ自体へのURL	あれば必須		0	unbounded	URL	identifier		
25		JALOCID	id:JALOCID				0	1	URL(URLでIDを記述すること)	identifier	注 [JALOC CrossRef]	
26		ISBN	isbn				0	unbounded		identifier		
27		ISSN	issn		あれば必須		0	unbounded	ISSN-THREE[ISSN]	identifier		
28		登録レコーディング(国会図書館ID)	NCID		あれば必須		0	unbounded		identifier		
29		雑誌誌	title	本タイトルのみ	あれば必須		0	1		identifier		
30	複製誌 情報	巻	volume		あれば必須		0	1			任意	
31		号	issue		あれば必須		0	1				
32		開始ページ	start	独立の開始ページ	あれば必須		0	1			併記された複製誌の上、 identifier	
33		終了ページ	stop	独立の終了ページ	あれば必須		0	1				
34		発行年月	dateIssued		あれば必須		0	1	YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY		date	
35			情報源	source				0	unbounded		source	

junii2

付属書

国立情報学研究所メタデータ主題語彙集（資源タイプ）

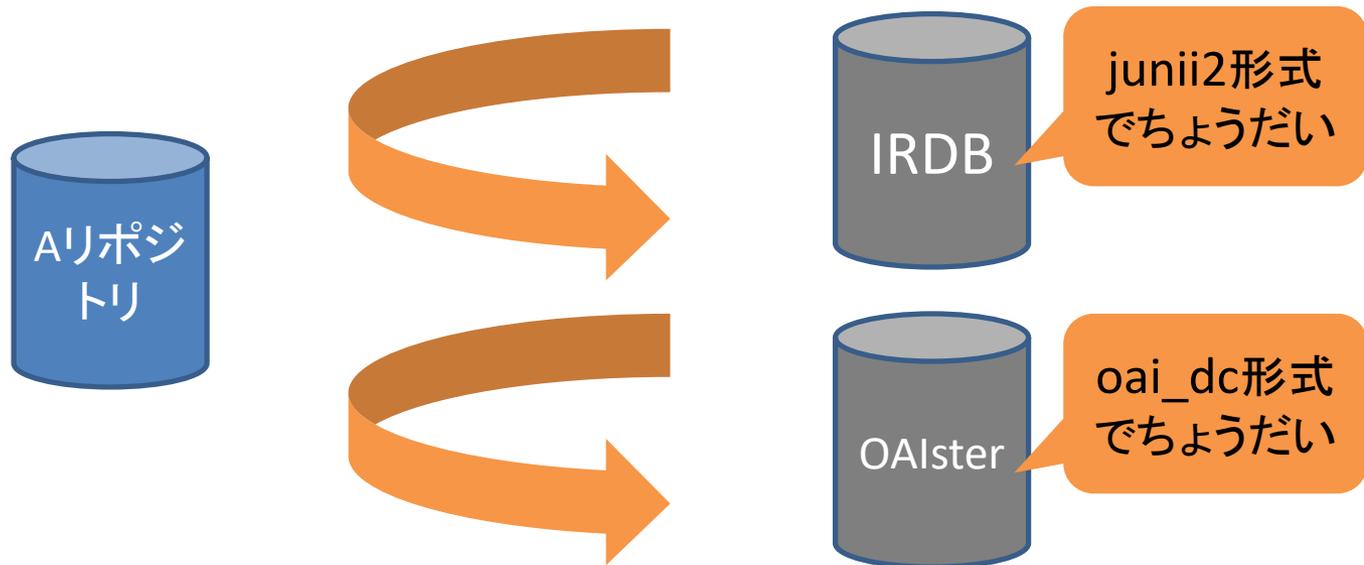
項目	内 容	
Journal Article	学術雑誌論文	学術雑誌に掲載された論文
Thesis or Dissertation	学位論文	博士論文、修士論文等
Departmental Bulletin Paper	紀要論文	紀要類に掲載された論文 表紙や目次は Others とする。
Conference Paper	会議発表論文	会議の報告書等に掲載された論文 会議名、開催地、日時等は必要に応じて Description に記入する。
Presentation	会議発表用資料	会議で発表されたプレゼンテーション資料、ポスター、口頭発表資料等 会議名、開催地、日時等は必要に応じて Description に記入する。
Book	図書	図書の章(Chapter)も含む。
Technical Report	テクニカルレポート	テクニカルレポート、ディスカッションペーパー、ワーキングペーパー等の機関発行の報告書
Research Paper	研究報告書	科研費や COE 等、研究助成金による研究成果の報告書 種別（助成元、研究課題の種類）等は必要に応じて Description に記入する。
Article	一般雑誌記事	学術論文以外の記事（コラム等）
Preprint	プレプリント	プレプリント
Learning Material	教材	授業等で用いる資料類
Data or Dataset	データ・データベース	実験記録等のファクトデータ、及びそれらの集合からなるデータベース等

junii2からJPCOARスキーマへ

- ver. 1.0 (2006)
 - dc、dcterms、OpenURL (for Journal Articles)などの要素を取り入れている。textversion、fullTextURLなどが特徴的
- ver. 2.0 (2011)
 - creator等に著者IDを追加(実証実験)
- ver. 3.0 (2013)
 - 学位規則改正(H25.4.1施行)、JaLC DOI等対応の拡張
- ver. 3.1 (2014)
 - 学位授与番号の改訂
- JPCOAR(ジェイピーコア)スキーマ (2017)
 - junii2を抜本的に改訂。研究データの記述や国際的な相互運用性確保などに対応。階層化、識別子の拡充などが特徴的

多くの場所から検索できるように

- 様々なサービスプロバイダからハーベストされるには、そのプロバイダが求めるデータ形式を用意する必要がある。



サービスプロバイダたち

oai_dc と OAIster

- IRDBが求めるjunii2は、日本独自のメタデータフォーマット。世界標準はoai_dc（オーエイアイディーシー）。
- oai_dcは、Dublin Coreの15の基本要素で表されるメタデータフォーマット。OAI-PMHではoai_dcでの提供は必須。
- OAIster(オイスター)は、OCLC(Online Computer Library Center)が運営するサービスプロバイダ。世界中の機関リポジトリからoai_dcで収集されたメタデータはWorldCatやOAIster専用インタフェースで検索できる。

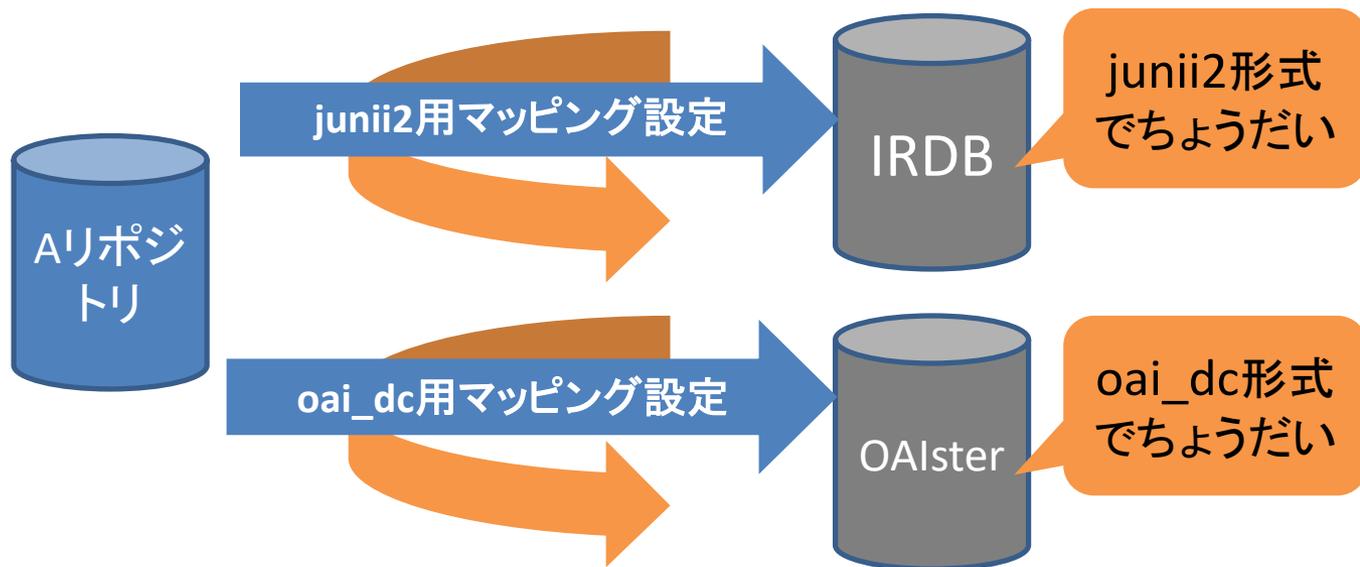
WorldCat

- <https://www.worldcat.org/> (参照2018-05-06) 世界最大の書誌・所蔵DB
- <http://oaister.worldcat.org/> (参照2018-05-06) OAister専用インターフェース

The screenshot displays the WorldCat website interface. At the top, there are navigation links for 'ホーム' (Home) and '検索' (Search). A notice about cookies is visible. The main content area features the OCLC WorldCat logo and a section titled '近くの図書館の所蔵資料をさがす' (Find collection materials from nearby libraries), which includes a search box and filters for 'すべて' (All), '書籍' (Books), 'DVD', 'CD', and '記事論文' (Articles/Papers). Below this is a search bar with a 'すべてを検索' (Search all) button. The right side of the page shows the 'OAister' section with the tagline 'Find the pearls' and a search box titled 'と世界の図書館を検索' (Search the world's libraries). This search box includes a dropdown menu for 'すべてのWorldCat参加図書館' (All WorldCat participating libraries) and a '検索' (Search) button. At the bottom, there is a footer with language options (Cesky, Deutsch, English, Español, Français, Italiano, Nederlands, Português, עברית, 한국어, 日本語, 中文(繁體), 中文(简体)), personal settings (ログイン, 新規登録, マイWorldCat, マイリスト, マイウォッチリスト, マイレビュー, マイタグ, マイサーチ), WorldCat links (ホーム, このサイトについて, ヘルプ, 検索), and legal terms (法的事項: Copyright © 2001-2017 OCLC. All rights reserved., プライバシーポリシー, 利用規約). A note at the bottom states: 'WorldCat は、図書館の所蔵資料をオンラインで見つけることができる世界最大の図書館共同カタログです。'

■ マッピング設定

メタデータを流通のために複数の形式に変換



サービスプロバイダたち

マッピング設定

- マッピングとは、機関リポジトリ内部のメタデータを、外部に提供するメタデータフォーマット(junii2やoai_dc等)で出力するために対応させることをいう。
- メタデータをマッピングにもとづきフォーマットに変換するプログラムのことをクロスウォークという。

マッピング設定

内部のメタデータ

junii2形式のメタデータ

DC Field	Value
dc.contributor.author	Suzuki, Masakazu
dc.date.accessioned	2011-07-01T05:59:14Z
dc.date.available	2011-07-01T05:59:14Z
dc.date.issued	2011-06
dc.identifier.uri	http://hdl.handle.net/10086/19220
dc.description.abstract	This paper analyzes the effect of interaction among heterogeneous investors on equity prices. We classify investors into three groups according to their information sets and beliefs: informed investors, trend followers, and contrarians. Then, the equity price is derived through the market clearing condition. Our model explains many anomalous phenomena in the equity markets, including excess volatility, the momentum effect, and the mean-reverting effect. Further, the empirical analysis shows that the difference in returns behavior between small- and large-cap equities in the U.S. market can be explained by differences in the composition of investors.
dc.language.iso	en
dc.publisher	Hitotsubashi University
dc.subject	Heterogeneous Beliefs
dc.subject	Equity Prices
dc.subject	Excess Volatility
dc.subject	Momentum Effect
dc.subject	Meanreverting Effect
dc.title	A Model of Equity Prices with Heterogeneous Beliefs
dc.subject.jel	G11
dc.subject.jel	G12
dc.type.NII	Departmental Bulletin Paper
dc.type.DCMItype	Text
dc.language.iso639-2	eng
dc.citation.issn	0018-280x
dc.citation.NCID	AA00207547
dc.citation.jtitle	Hitotsubashi Journal
dc.citation.volume	52
dc.citation.issue	1
dc.citation.spage	41
dc.citation.epage	54
dc.textversion	publisher

```

この XML ファイルには3つのメタデータ形式が記述されています。
<OAI-PMH xmlns:schemaLocation="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/ http://www.openarchives.org/OAI/2.0/OAI-PMH.xsd">
  <responseDate>2017-04-29T01:26:31Z</responseDate>
  <request verb="GetRecord" identifier="oai:hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp:10086/19220" metadataPrefix="junii2">http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs-oai
  /request</request>
  <GetRecord>
    <header>
      <id>10086/19220</id>
    </header>
    <body>
      <junii2 xmlns:schemaLocation="http://irdb.nii.ac.jp/oai http://irdb.nii.ac.jp/oai/junii2-3.0.xsd">
        <title>
          A Model of Equity Prices with Heterogeneous Beliefs
        </title>
        <subject>Heterogeneous Beliefs</subject>
        <subject>Equity Prices</subject>
        <subject>Excess Volatility</subject>
        <subject>Momentum Effect</subject>
        <subject>Meanreverting Effect</subject>
      </junii2>
      <description>
        この XML ファイルにはスタイル情報が記述されています。
      </description>
    </body>
  </GetRecord>
</OAI-PMH>

この XML ファイルには3つのメタデータ形式が記述されています。
<OAI-PMH xmlns:schemaLocation="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/ http://www.openarchives.org/OAI/2.0/OAI-PMH.xsd">
  <responseDate>2017-04-29T01:34:37Z</responseDate>
  <request verb="GetRecord" identifier="oai:hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp:10086/19220" metadataPrefix="oai_dc">http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs-oai
  /request</request>
  <GetRecord>
    <header>
      <id>10086/19220</id>
      <timestamp>1501632522</timestamp>
      <setSpec>10086_19211</setSpec>
    </header>
    <body>
      <oai_dc xmlns:schemaLocation="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/oai_dc/ http://www.openarchives.org/OAI/2.0/oai_dc.xsd">
        <dc:creator>Suzuki, Masakazu</dc:creator>
        <dc:date>2011-06</dc:date>
        <dc:identifier>http://hdl.handle.net/10086/19220</dc:identifier>
        <dc:description>
          This paper analyzes the effect of interaction among heterogeneous investors on equity prices. We classify investors into three groups according to their information sets and beliefs: informed investors, trend followers, and contrarians. Then, the equity price is derived through the market clearing condition. Our model explains many anomalous phenomena in the equity markets, including excess volatility, the empirical analysis shows that the difference in returns behavior between small- and large-cap equities in the U.S. market can be explained by differences in the composition of investors.
        </dc:description>
      </oai_dc>
    </body>
  </GetRecord>
</OAI-PMH>

```

junii2用マッピング設定

oai_dc形式のメタデータ

oai_dc用マッピング設定

マッピング表

内部	junii2	oai_dc
タイトル	title	dc:title
著者	creator	dc:creator
...



マッピング設定

アイテムタイプ編集

アイテムタイプ選択
メタデータ編集
マッピング設定

学位論文 / Thesis or Dissertation

メタデータ編集

マッピング設定

権限(ベース権限)

投稿権限なし

権限(ルーム権限)

投稿権限あり

主担 モデレータ 一般

アイテムタイプ選択 マッピング設定 確認

アイテムタイプ : 学位論文 / Thesis or Dissertation Thesis or Dissertation ▼

メタデータ名	入力タイプ	Dublin Core	junii2	表示言語
タイトル	テキスト	title	title/alternative	日本語
タイトル(英)	テキスト	title	title/alternative	英語
言語	選択式(プルダウン)	language	language	指定なし
公開日	日付	date	date	指定なし
キーワード	テキスト	subject	subject	日本語
キーワード(英)	テキスト	subject	subject	英語
その他(別言語等)のタイトル	テキスト	title ▼	alternative ▼	指定なし ▼
著者	氏名	creator ▼	creator ▼	日本語 ▼
著者(英)	氏名	未設定 ▼	未設定 ▼	英語 ▼
著者ID	テキスト	identifier ▼	identifier ▼	指定なし ▼
公開者	テキスト	publisher ▼	publisher ▼	指定なし ▼
寄与者	氏名	contributor ▼	contributor ▼	指定なし ▼
抄録	テキストエリア	description ▼	description ▼	指定なし ▼
学位名	テキスト	type ▼	type ▼	指定なし ▼
学位授与機関	テキスト	description ▼	description ▼	指定なし ▼
学位授与年度	テキスト	description ▼	description ▼	指定なし ▼

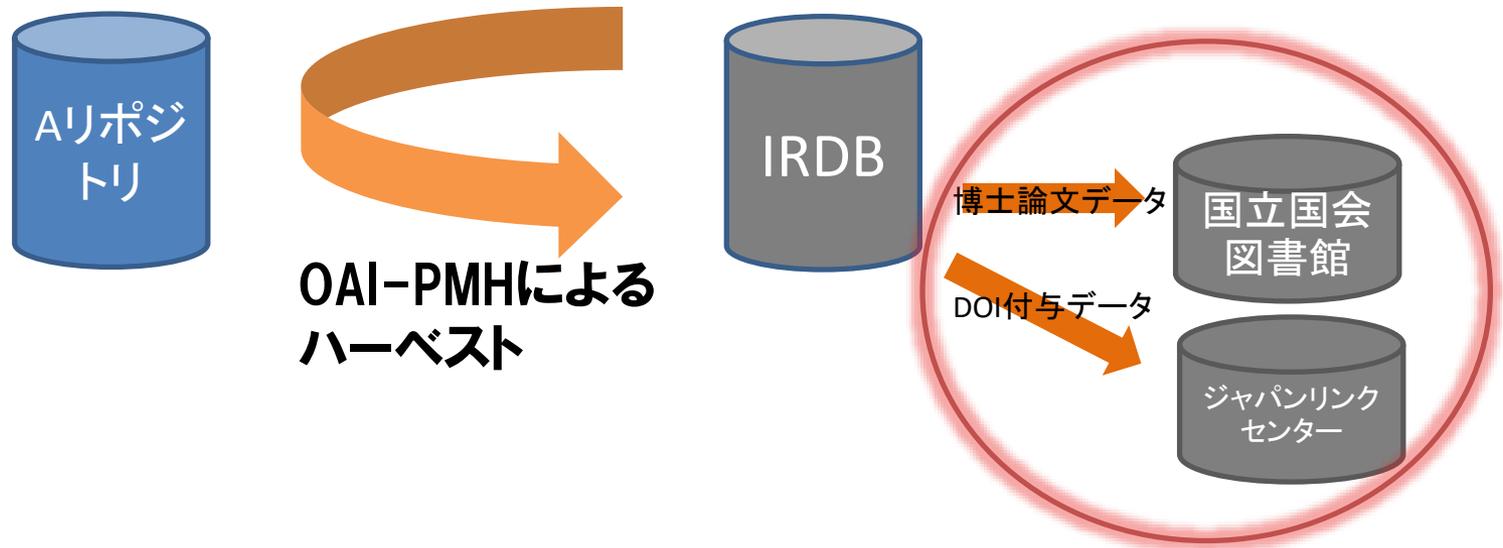
メタデータ作成・修正・削除の留意点

- サービスプロバイダが求めるメタデータを作成する。
- IRDBとその連携先が求めるメタデータについては、
https://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/irdb_harvest.html
「**IRDBハーベストについて**」(参照2018-05-06) をチェック。
 - CiNii Articlesへのデータ連携を行うメタデータの条件
 - CiNii Dissertationsへのデータ連携を行うメタデータの条件
 - 国会図書館へ提出するメタデータのフォーマットチェック
 - JaLCへ提出するメタデータのフォーマットチェック
- メタデータを削除・修正した場合、サービスプロバイダやその連携先にデータの削除・修正が反映されないことがある。→ **連携の仕組みを理解し、安易に削除・変更を行わないように。**

■ 国立国会図書館への博士論文提出

■ 機関リポジトリコンテンツへのDOI付与

システム連携の実例



国立国会図書館への博士論文提出

- 提出方法は次の3つ

- ① IRDBと連携している機関リポジトリで公表する場合

- システム連携により自動提出

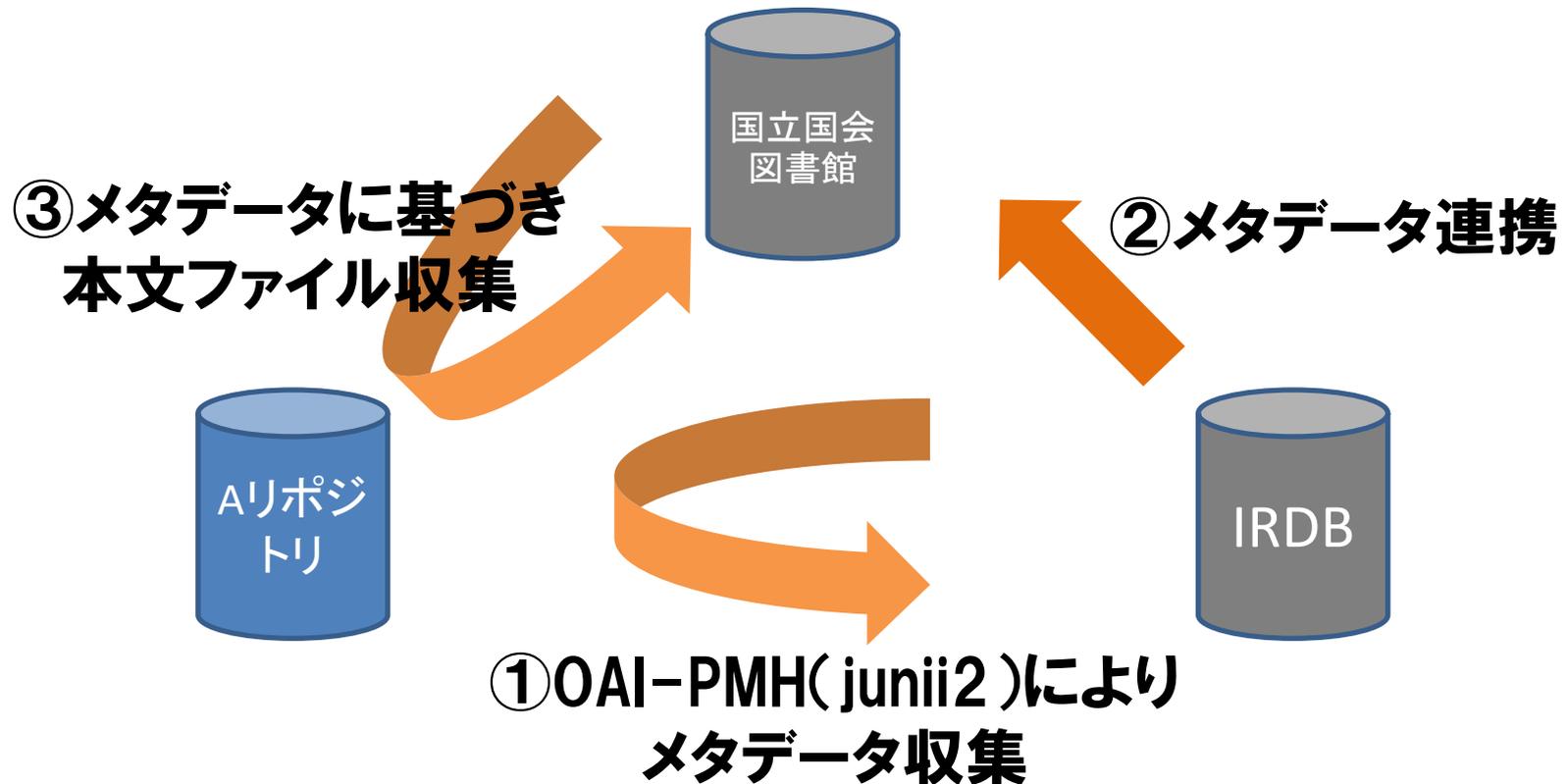
- ② IRDBと連携していない機関リポジトリやホームページ等で公表する場合→国立国会図書館の送信システムにより、手動で提出

- ③ インターネットを利用して論文の全文を公表しない場合→電子形態なら送信システムにより、冊子形態なら郵送等により、手動で提出

- ※ 博士論文の提出とは別に、「学位授与報告書の写し」を国立国会図書館に送付しなければ博士論文が公開されません。ご注意ください。

国立国会図書館への博士論文提出

- システム連携の概念図



国立国会図書館への博士論文提出

- 国立国会図書館は以下の条件でメタデータを収集
 - Nlltypeが”Thesis or Dissertation”
(資源タイプ)
 - textversionが”ETD”でfulltextURLがある
(著者版フラグ)
 - dateofgrantedが”2013-04-01”以降
(学位授与年月日)

機関リポジトリコンテンツへのDOI付与

- DOI (Digital Object Identifier; デジタルオブジェクト識別子)とは
 - DOI(ディーオーアイ)は、インターネット上のドキュメントに恒久的に与えられる国際的な識別子。論文などの識別子として広く使用されている。
 - <http://doi.org/>に続けてDOIを入力すると論文の所在するURLに自動転送される。この仕組みにより、ドキュメントへのリンク切れを防ぐことができる。

機関リポジトリコンテンツへのDOI付与

- DOIの構成

例: 10.1038/nchembio.1524

Prefix(プレフィックス)

- ・出版社等の各機関固有の番号
- ・DOI登録機関が出版社等に付与

Suffix(サフィックス)

- ・コンテンツを特定する番号
- ・出版社等によって付与

<http://doi.org/10.1038/nchembio.1524> にアクセスすると、
<https://www.nature.com/nchembio/journal/v10/n6/full/nchembio.1524.html>
に自動転送される。将来、後者のURLが変わってもDOIは変わらない。

機関リポジトリコンテンツへのDOI付与

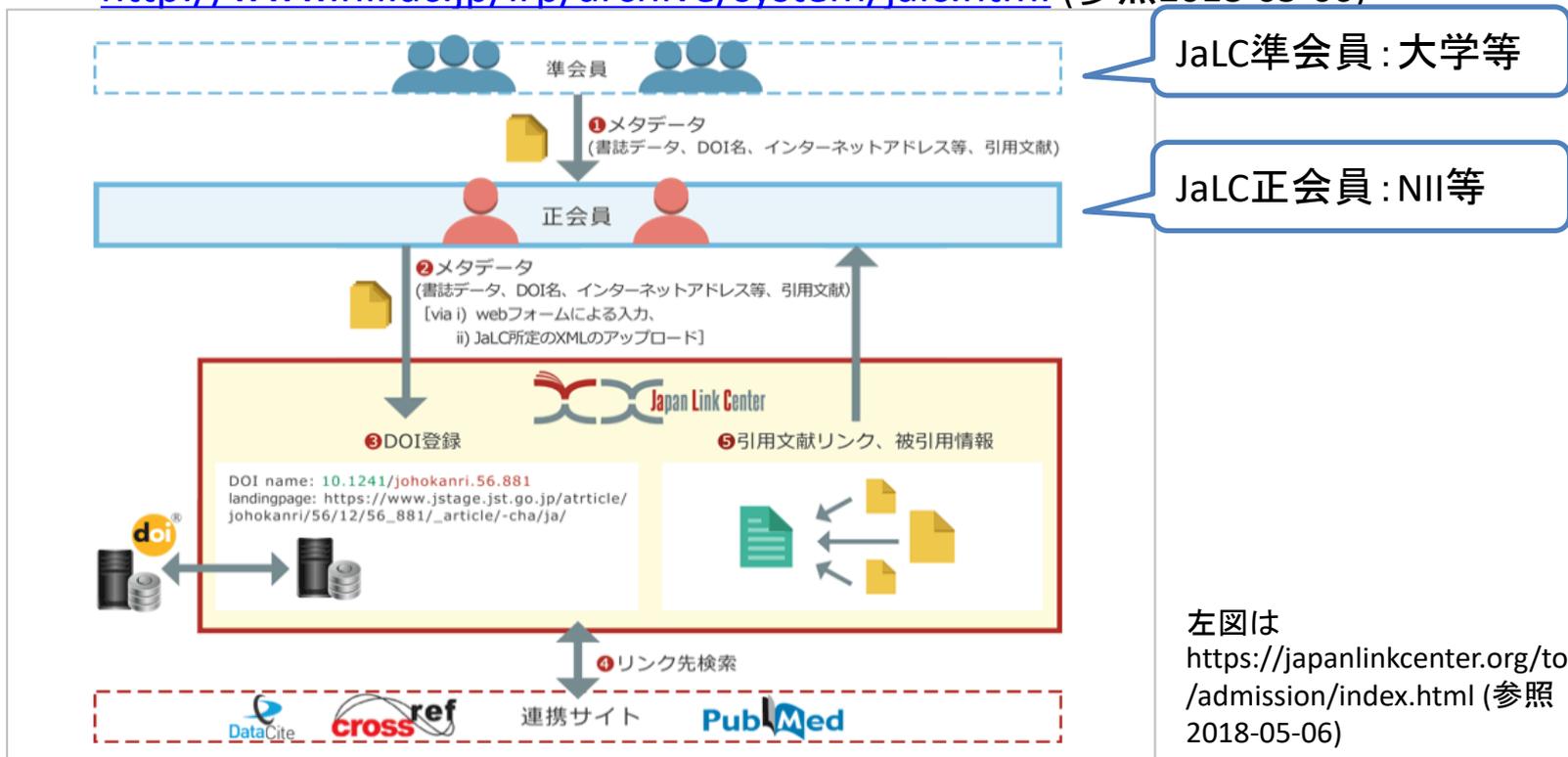
- DOIに関わる機関

- DOIは国際DOI財団 (IDF) が管理。
- IDFは直接DOIを登録せず、IDFによって認可されたDOI登録機関 (RA: Registration Agency) がPrefixを出版社等に付与。
- 有名なRAの1つがCrossRef。CrossRefには主に海外の学術雑誌出版社が会員となり、登録している。
- 日本初のRAは、ジャパンリンクセンター (JaLC)。JaLCは、科学技術振興機構、物質・材料研究機構、国立情報学研究所、国立国会図書館が共同で運営。

機関リポジトリコンテンツへのDOI付与

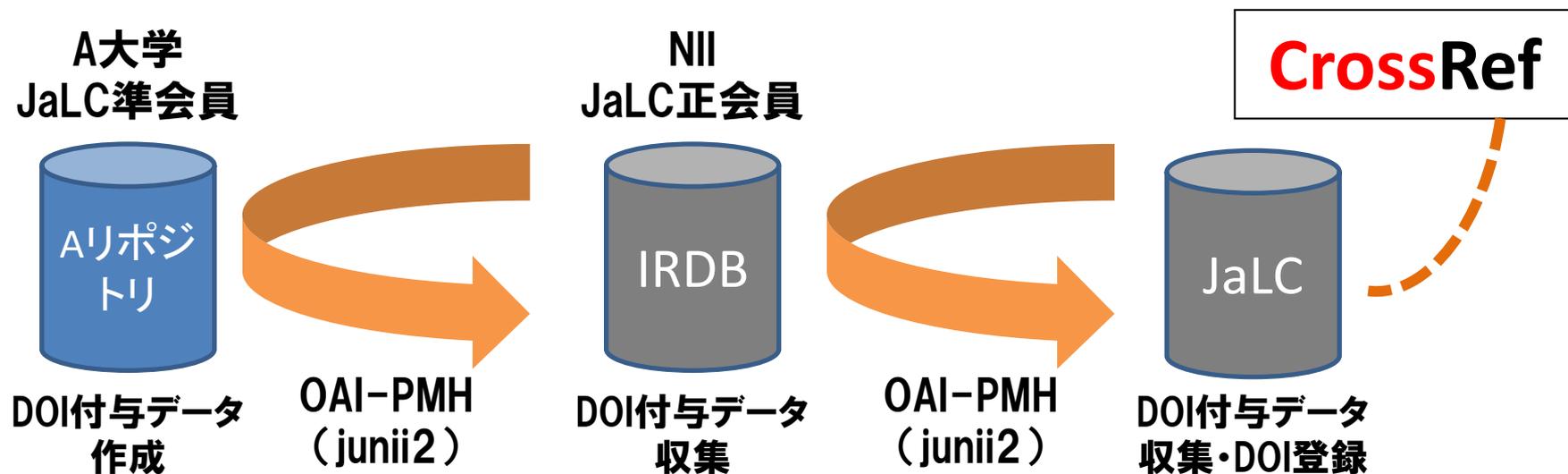
• リポジトリコンテンツへのDOI付与

- まずは、JaLC正会員であるNIIを通じてJaLC準会員になる。手続きは <http://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/jalc.html> (参照2018-05-06)



機関リポジトリコンテンツへのDOI付与

- リポジトリコンテンツへのDOI付与（続き）
 - JaLC準会員にはPrefixが付与され、機関リポジトリのコンテンツにJaLC DOIを付与する資格が与えられる。CrossRef DOIの付与は有料オプション。
 - DOI連携の概念図



機関リポジトリコンテンツへのDOI付与

- 登録方法は、NIIの「IRDB(JAIRO)データ提供機関のためのDOI管理・メタデータ入力ガイドライン」バージョン2.0
http://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/pdf/JaLC_guideline_ver2.0.pdf
(参照2018-05-06)
- 登録できるコンテンツ
 - 自機関で出版(学位授与)、または出版者から管理委託されたコンテンツ(紀要など)
 - 著者版コンテンツ
 - 1991年～2000年度の博士論文で、国立国会図書館で既にJaLC DOIを登録している論文は、リポジトリでもそれと同じDOIを登録する。同じDOIが付与された場合、**マルチプルレゾリューション**という機能によって、複数のURLにナビゲーションされる仕組みがある。

マルチプルレゾリューション

- 1つのDOIで複数のコンテンツ所在情報(URL)を示すようにする仕組み。
- 対象は1991年～2000年度、2013年4月以降に学位授与された博士論文。
- 例) doi:10.11501/3111319

マルチプルレゾリューション	
■ DOI	: 10.11501/3111319
	登録機関名
1	国立国会図書館 / National Diet Library
2	機関リポジトリ / Institutional Repository
■ タイトル情報	
タイトル	: リモートプラズマ励起有機金属化学気相堆積法によるZnSeの成長
タイトル記述言語	: 混在誌または言語不明

システム担当者が行うこと

最初に行うこと

- システム構築の段階で行うこと
 - メタデータ設計
 - マッピング設定
- データ登録し、公開の準備ができたなら最初に行うこと
 - OAI-PMHの出力確認
 - OAIデータプロバイダリストへの登録
 - IRDBへのデータ提供申請
 - 各種ディレクトリへの登録

メタデータ設計／マッピング設定

- メタデータ設計とマッピング設定は資料種別(学術雑誌論文、学位論文など)ごとに行う。
- 機関リポジトリの内部に持つメタデータは、自由に設計してよい。
- 同時に、サービスプロバイダが求めるメタデータフォーマット(IRDBならjunii2)に従って出力されるように設計する。

メタデータ設計／マッピング設定

- ①junii2対応メタデータ、②oai_dc対応メタデータ、③独自に持つべきメタデータを考える必要がある。例) 査読の有無、機関独自の教員番号など

②oai_dc対応

①junii2対応

③独自に持つメタデータ

Junii2形式でも
oai_dc形式でも出力しないデータがあってもよい

メタデータ名	入力タイプ	Dublin Core	junii2	表示言語
タイトル	テキスト	title	title/alternative	日本語
タイトル(英)	テキスト	title	title/alternative	英語
言語	選択式(プルダウン)	language	language	指定なし
公開日	日付	date	date	指定なし
キーワード	テキスト	subject	subject	日本語
キーワード(英)	テキスト	subject	subject	英語
その他(別言語等)のタイトル	テキスト	title	alternative	指定なし
著者	氏名	creator	creator	日本語
著者(英)	氏名	未設定	未設定	英語

OAI-PMHの出力確認

- マッピング等が正しく設定できているか、意図したとおりにメタデータが出力されるか、ウェブブラウザで要求URLを打ってOAI-PMHの出力を確認する。

baseURL?verb=コマンド&パラメタ=引数

- baseURLは、各機関リポジトリで異なる。自機関のbaseURLを把握しておくこと。
 - 一橋大学HERMES (DSpace)
<http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs-oai/request> (参照2018-05-06)
 - 旭川医科大学AmCoR (XooNips)
<http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/oai.php> (参照2018-05-06)
 - 東北学院大学 (JAIRO Cloud (WEKO))
<https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/oai> (参照2018-05-06)

OAI-PMHの出力確認

- コマンドとパラメータ

コマンド	説明	指定可能パラメタ
Identify	どんなりポジトリですか？	
ListMetadataFormats	どんな形式でデータを出力できますか？	i
ListSets	どんな集合がありますか？	r
GetRecord	データを1つください	m, i
ListIdentifiers	IDリストをください	m, s, f, u, r
ListRecords	データを全部ください	m, s, f, u, r

パラメタ	説明
m etadataPrefix	このデータ形式で
s et	この集合のデータを
f rom	この日時のデータから
u ntil	この日時のデータまで
i dentifier	このIDのデータを
r esumptionToken	次項のデータを

北海道大学附属図書館野中雄司氏
作成「機関リポジトリのメタデータ概
論(平成22年度学術ポータル担当者
研修)」より
<https://www.nii.ac.jp/hrd/ja/portal/h22/txt8-w-1.pdf> (参照2018-05-06)

OAI-PMHの出力確認

- 要求URLの例
 - baseURL?verb=Identify 基本情報を教えて
 - baseURL?verb=ListRecords&metadataPrefix=junii2
junii2形式でデータ全部出して
 - baseURL?verb=ListRecords&metadataPrefix=oai_dc&from=2018-04-24&until=2018-04-30 2018年4月24日から4月30日までに登録・更新されたデータをoai_dc形式で出して

OAI-PMHの出力確認

<http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/oai.php?verb=Identify> (参照2018-05-06)

```
- <OAI-PMH xsi:schemaLocation="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/
http://www.openarchives.org/OAI/2.0/OAI-PMH.xsd">
  <responseDate>2018-05-06T07:18:49Z</responseDate>
  - <request verb="Identify">
    http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/oai.php
  </request>
  - <Identify>
    <repositoryName>amcor</repositoryName>
  - <baseURL>
    http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/oai.php
  </baseURL>
  <protocolVersion>2.0</protocolVersion>
  <deletedRecord>transient</deletedRecord>
  <granularity>YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ</granularity>
  <earliestDatestamp>1970-01-01T00:00:00Z</earliestDatestamp>
  <adminEmail>amcor@asahikawa-med.ac.jp</adminEmail>
  <adminEmail>kusakabe@asahikawa-med.ac.jp</adminEmail>
  <adminEmail>h-higuchi@asahikawa-med.ac.jp</adminEmail>
  </Identify>
</OAI-PMH>
```

OAI-PMHの出力確認

<http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/oai.php?verb=ListRecords&metadataPrefix=junii2> (参照2018-05-06)

```
- <OAI-PMH xsi:schemaLocation="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/ http://www.openarchives.org/OAI/2.0/OAI-PMH.xsd">
  <responseDate>2018-05-06T07:25:07Z</responseDate>
- <request verb="ListRecords" metadataPrefix="junii2">
  http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/oai.php
</request>
- <ListRecords>
- <record>
  - <header>
    <identifier>amcor.id/2001005854</identifier>
    <datestamp>2012-10-24T04:07:43Z</datestamp>
    <setSpec>index3</setSpec>
    <setSpec>index3:index3805</setSpec>
    <setSpec>xnparticle</setSpec>
  </header>
- <metadata>
  - <junii2 xsi:schemaLocation="http://irdb.nii.ac.jp/oai http://irdb.nii.ac.jp/oai/junii2-3_0.xsd">
    <title>【再生医学と生命科学】 再生医療 肝細胞移植による肝不全の治療</title>
    <creator>葛西, 眞一</creator>
    <creator>澤, 雅之</creator>
    <description>出版社版葛西眞一 澤雅之</description>
  - <description>
    急性肝不全動物に対する肝細胞移植の有用性が報告され,欧米では既に肝移植迄の経過処置法として臨床応用が行われて
```

OAI-PMHの出力確認

<http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/oai.php?verb=Identify> (参照2018-05-06)

```
- <OAI-PMH xsi:schemaLocation="http://www.openarchives.org/OAI/2.0/ http://www.openarchives.org/OAI/2.0/OAI-PMH.xsd">
  <responseDate>2018-05-06T07:31:09Z</responseDate>
  - <request verb="Identify">
    http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/oai.php
  </request>
  - <Identify>
    <repositoryName>amcor</repositoryName>
  - <baseURL>
    http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/oai.php
  </baseURL>
  <protocolVersion>2.0</protocolVersion>
  <deletedRecord>transient</deletedRecord>
  <granularity>YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ</granularity>
  <earliestDatestamp>1970-01-01T00:00:00Z</earliestDatestamp>
  <adminEmail>amcor@asahikawa-med.ac.jp</adminEmail>
  <adminEmail>kusakabe@asahikawa-med.ac.jp</adminEmail>
  <adminEmail>h-higuchi@asahikawa-med.ac.jp</adminEmail>
  </Identify>
</OAI-PMH>
```

deleteレコードの扱い

- OAI-PMHにおける、削除レコードの扱い方針

削除レコードの扱い方針	説明
no	削除履歴を保持しない
persistent	削除履歴を永続的に保持
transient	削除履歴を保持するが永続性は保証しない

- サービスプロバイダは差分データをハーベストしているのでデータを削除すると反映されない。上記の方針のうち、persistentかtransientを選択し、削除履歴を残すこと。

OAIデータプロバイダリストへの登録

- まずは、本家であるOpen Archives Initiativeのデータプロバイダリストに登録する。

<http://www.openarchives.org/Register/BrowseSites> (参照2018-05-06)

- このリストは、世界中のサービスプロバイダに向けて公開されている。
- 「機関リポジトリを公開するとは、このリストに登録すること」とも言える。

OAIデータプロバイダリストへの登録

- 登録方法

<http://www.openarchives.org/Register/ValidateSite> (参照2018-05-06)



OAI-PMH Data Provider Validation and Registration

Please enter base URL of the repository to be validated and/or registered:

Validate only (run again to register later)
 Register this site (or update existing registration)

Note that the base URL you enter here must EXACTLY match the base URL returned in the Identify response. It must match in case (<http://Wibble.org/> does not match <http://wibble.org/>) and include any trailing slashes etc.

Submitting this form will make some initial tests of the validation of the base URL you have submitted and then send an email to the adminEmail address specified in the Identify response. The email will contain a URL to confirm the request to validate and/or register the repository. This procedure has been adopted so that only the administrators of a repository or data provider can run the validation and registration tests.

If the registration option is selected and validation is successful, then the base URL will be added to the [list of OAI-PMH registered data providers](#).

If you want to update an existing registration where the base URL has not changed then simply use this form and re-run the registration process. If you have changed the base URL then please send email to oai-pmh@googlegroups.com with details of the old baseURL so that the old record can be deleted. See [registering as a data provider](#) for more details of registration and validation.

Fri Apr 28 03:02:23 2017

テストするならValidate onlyに、
登録するならRegisterにチェックし、
baseURLを入れて
Validate baseURLボタンを押す。

OAIデータプロバイダリストへの登録

- 登録方法(続き)



OAI-PMH Data Provider Validation and Registration

Initial validation checks (step 1)

baseURL is `http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs-oai/request`
Validation only
Request logged from 133.46.104.92

Checking Identify response

REQUEST `http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs-oai/request?verb=Identify` GET
PASS Administrator email address is 'ir-admin@lib.hit-u.ac.jp'
PASS Correctly reports OAI-PMH protocol version 2.0
PASS baseURL supplied matches the Identify response
PASS Datestamp granularity is 'seconds'
PASS Extracted earliestDatestamp 2001-01-01T00:00:00Z

The OAI-PMH data provider with base URL `http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs-oai/request` has passed initial validation. An email message has been sent to the administrator's email address shown above which includes a URL to continue validation and/or registration. The purpose of this email step is to ensure that only the administrator can change the registration record of a data provider, and to avoid the possibility of excessive use of the validation script against a data provider by some third party.

Fri Apr 28 03:16:07 2017

結果を画面で確認する。

OAIデータプロバイダリストへの登録

- 登録方法(続き)



確認メールが届くので、続けるなら所定のURLにアクセスし、画面の指示に従って登録する。

なお、確認メールはOAI-PMHのIdentify命令の出力結果に記載されているアドレスに届く。

IRDBへのデータ提供申請

- NIIのIRDBからハーベストされるには、申請が必要。
- 申請方法
 - IRDBの運用規程及び運用細則に基づき、「データ提供申請書」及び「担当者・システム情報届出書」をメールで提出する。手続き方法や申請書等の様式は次を参照。
 - <https://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/> (参照2018-05-06)
 - JAIRO Cloudの新規申込と同時に申込み場合は、「データ提供申請書」及び「担当者・システム情報届出書」の別途提出は不要。

各種ディレクトリへの登録

- 業界への周知
 - 世界の機関リポジトリリスト
 - OpenDOAR: Directory of Open Access Repositories
 - 日本の機関リポジトリリスト
 - NII学術機関リポジトリ構築連携支援事業
<http://www.nii.ac.jp/irp/list/> (参照2018-05-06)
 - ちなみに、自機関でオープンアクセス方針を定めたときも業界に周知するとよい。
 - ROARMAP: Registry of Open Access Repository Mandates and Policies
 - JPCOAR: オープンアクセス方針・実施要領 リンク集

日常的に行うこと

- アクセスログのチェック
- 障害予防、障害発見
 - ディスク領域
 - IRDBハーベスト実行結果のチェック
 - (DSpaceの場合)HANDLEが機能しているか
- 機関リポジトリの稼働状況チェック
 - IRDBコンテンツ分析システム

アクセスログのチェック

- アクセス数は機関リポジトリの評価指標の1つ。定期的にアクセス統計を確認するとよい。
- 障害発生時にはアクセスログを確認し、原因を特定する。
- 大量アクセスの原因
 - 個々の利用者によるアクセスが増えていた→Wikipedia、新聞、高名ブログへの掲載をきっかけにアクセス数が突発的に増加することがある→広報のきっかけにできるかも。
 - システムティックなアクセスが大量→ログに短時間の大量アクセスの様子があれば、IPを特定する。学外からならアクセスをブロック、学内からならウィルス感染を疑いPCを特定する等の対応を行う。

2012 年 08 月 検索

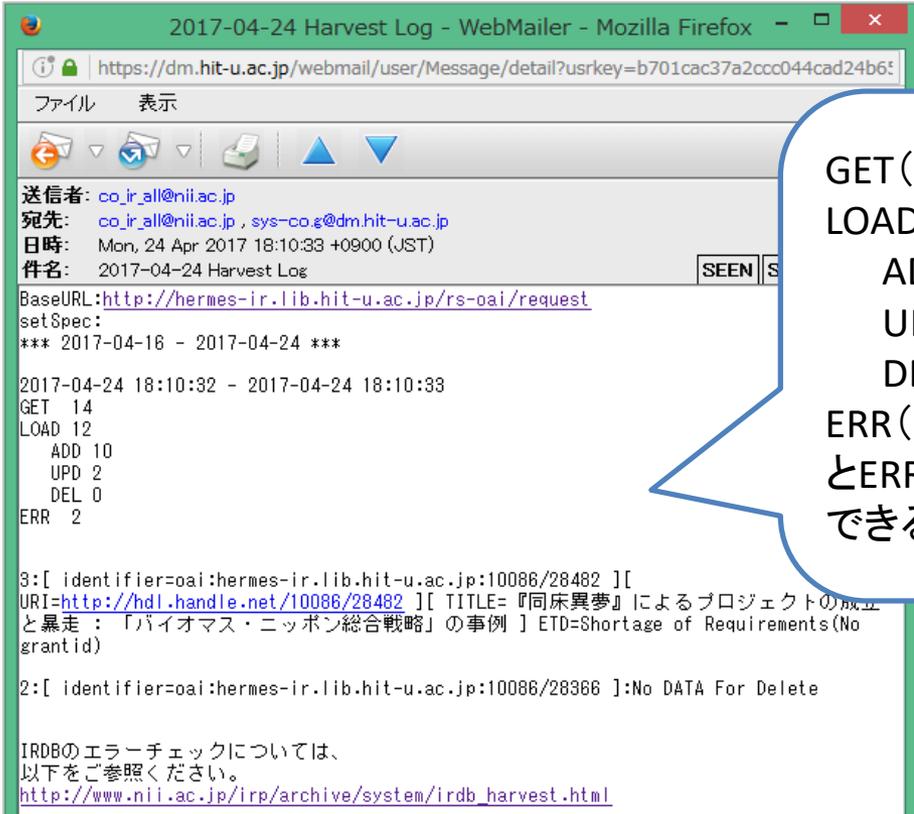
ダウンロード数 231614 件 (学内: 1636 件)

	ダウンロード数	ダウンロード数(学内)	タイトル
1	5247	0	日本的なもの>の表象としての黒澤映画 -映画記号学的視点からのアプローチ-
2	488	0	ca拮抗薬の分類と作用機序: ca拮抗薬の分子薬理学
3	440	2	炭酸カルシウムを出発原料とした材料開発に関する基礎研究
4	364	2	gタンパク質共役型受容体 (gpcr)シグナルの細胞内因子による活性調節機構の解明
5	341	1	ハイブリッド薬ピモベンダンの薬理学
6	321	2	電位依存性ca²⁺チャネルの分子薬理学とca拮抗薬の差異化
7	284	0	頭頸部癌治療後の摂食嚥下リハビリテーションによる摂食嚥下機能とqolへの影響
8	278	0	公開化学実験講座における色素化学の導入 -教材開発と意識調査研究-
9	219	0	超重症児(者)に関する療育・教育研究の動向およびその諸課題について
	219	0	孤立性収縮期高血圧と孤立性拡張期高血圧の予後に関する研究 -家庭血圧測定値を用いた検討-
11	205	5	gタンパク質共役型受容体(gpcr)のカルボキシル末端を介したgpcr機能制御に関する研究

例
前月の値は
「520」...

IRDBハーベスト実行結果のチェック

- IRDBのハーベスト実行結果はメールで届く。



```
2017-04-24 Harvest Log - WebMailer - Mozilla Firefox
https://dm.hit-u.ac.jp/webmail/user/Message/detail?usrkey=b701cac37a2ccc044cad24b65
ファイル 表示
送信者: co_ir_all@nii.ac.jp
宛先: co_ir_all@nii.ac.jp, sys-co.g@dm.hit-u.ac.jp
日時: Mon, 24 Apr 2017 18:10:33 +0900 (JST)
件名: 2017-04-24 Harvest Log
BaseURL:http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs-oai/request
setSpec:
*** 2017-04-16 - 2017-04-24 ***

2017-04-24 18:10:32 - 2017-04-24 18:10:33
GET 14
LOAD 12
  ADD 10
  UPD 2
  DEL 0
ERR 2

3:[ identifier=oai:hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp:10086/28482 ][
URI=http://hdl.handle.net/10086/28482 ][ TITLE=『同床異夢』によるプロジェクトの成立
と暴走 : 「バイオマス・ニッポン総合戦略」の事例 ] ETD=Shortage of Requirements(No
grantid)

2:[ identifier=oai:hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp:10086/28366 ]:No DATA For Delete

IRDBのエラーチェックについては、
以下をご参照ください。
http://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/irdb_harvest.html
```

GET(ハーベストされた数)、
LOAD(IRDBにロードできた件数)、
ADD(うち、新規追加件数)、
UPD(うち、更新件数)、
DEL(うち、削除件数)
ERR(IRDBにロードできなかった件数)
とERRを起こしているメタデータが特定
できる。

IRDBハーベスト実行結果のチェック

- エラーがあるとIRDBに登録されないなので、エラーの原因を特定し、対応する。
- エラーについての解説は下記のサイトを参照。
http://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/irdb_harvest.html
(参照2018-05-06)
- それでも分からない場合は ir@nii.ac.jp まで問い合わせる。

IRDBコンテンツ分析システム

- <http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php> (参照2018-05-06)
- 国内機関リポジトリの詳細情報、コンテンツの統計分析情報を閲覧できるサイト。
- 自機関リポジトリの資源別コンテンツ数等の統計も

IRDBコンテンツ分析
NII Institutional Repositories DataBase Contents Analysis

[IRDBコンテンツ分析について](#) [ヘルプ](#) [お知らせ](#)
[お問い合わせ](#) [English](#)

機関名等から検索 :

[HOME](#) [機関名一覧から探す](#)
[クローラー情報](#)

IRDB (Institutional Repositories DataBase : 学術機関リポジトリデータベース) コンテンツ分析システムでは、各IRの詳細情報、コンテンツ内容の統計分析情報、機関リポジトリのクローラー (ロボット) 情報を提供しています。
[詳細](#)

分析対象 :
IRDBハーベスト機関リポジトリ数 : 677、コンテンツ数 全体 : 2,850,790件、本文あり : 2,174,446件 (2018/04/30)

さいごに

- あらゆる技術、ノウハウは、ほんのわずか先に着手した人たちが模索＋確立してきたもの
 - OAI-PMH仕様(2002→日本語化2003-2004)
 - DSpace/EPrints実装実験(2004)
 - Cf. 日本目録規則(1943)、目録情報の基準(1986)
- みな、普通の図書館職員が作り上げてきた
 - 「不便」「こうなるとよい」と思ったら開発・整備に参加しよう(JPCOAR作業部会・タスクフォース)
- リポジトリ構築、コンテンツ収集のノウハウも然り